別紙２

第７９回国スポ大会成年男子一次予選会実施要項

1　日　　時　　令和７年４月６日(日)　午前９時開館
2　場　　所　　ALSOK ぐんま武道館　大道場(アップ会場は第３道場 正午まで)
3　受付要領　　受付時間：９時２０分から９時４０分
受付場所：1 階大道場入口
受付時に持参するもの：支部名の名札、紅白目印
面マスクまたはマウスガード
4　参加資格　　群馬県剣道連盟の会員で、各支部選出の者
5　年齢基準　　令和７年４月１日現在とする。
6　年齢区分
① 先鋒　満 25 歳未満　各支部 7 名以内
② 次鋒　満 25 歳以上満 35 歳未満　各支部 7 名以内
③ 中堅　満 35 歳以上満 45 歳未満　各支部 5 名以内
④ 副将　満 45 歳以上満 55 歳未満　各支部 5 名以内
⑤ 大将　満 55 歳以上で日本スポーツ協会国スポ監督資格を有する者
但し、⑤を除く、令和６年度国スポ選手、警察官、刑務官はこの制限以外に参加できる。
7　試合方法
(1) 試合・審判規則
全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則及び剣道試合・審判・運営要領の手引き（令和６年９月１日改訂）による。
(2) 各年代別にトーナメント又はリーグ戦方式とする。
(3) 試合は３本勝負、試合時間は５分とする。
試合時間内に勝敗が決しない場合は、トーナメント又はリーグ戦共に延長戦を行い、先に１本取得したものを勝ちとする。なお、延長に入ってからの試合時間は３分区切りで、延長３回で１回５分の休憩を取り、勝敗の決するまで継続する。
リーグ戦における順位の決定は、勝ち数の多い者、勝ち数が同数の場合は総本数が多い者、同数の場合は、同数者による一本勝負により決定する。試合時間は前記と同様とする。
(4) 竹刀検査について、検査時の持参竹刀は３本までの本数制限となるので、あらかじめ各自、別添「竹刀の基準」を確認・点検してから持参すること。
なお、検査に合格した竹刀が、破損等ですべて使用不可となった場合は、その都度、審判主任に申し出て竹刀検査を実施し、合格した竹刀を使用すること。
竹刀検査は、全日本剣道連盟竹刀検査基準器にて実施する。

(5) 剣道具については、検査は実施しないが、あらかじめ各自、全日本剣道連盟の別添「剣道用具安全基準の検査要領」を確認して、基準に適用する剣道具にて参加すること。
(6) 各１位の選手を本県代表選手とする。
(7) 一次予選では、４５歳未満まではベスト４まで残し、４５歳以上・５５歳以上は２人残し、最終決定は二次予選会（７月１３日）にて行う。

8 表　　彰

各年齢区分１位の選手を表彰する。

9 申込方法

(1) 各支部は出場選手をとりまとめ、**令和７年３月２２日(土)必着で、**別添「第79回国スポ予選申込書」により申し込むこと。選手の参加料は１人1,000円とし、各支部で取りまとめて大会終了後に振り込むこと。
(2) 県外で活動していて群馬県から出場を希望する者は、住所が県内外を問わず「ふるさと登録」を要することから、必ずふるさと登録用紙に必要事項を漏れなく記載し、押印のうえ提出すること。
様式は群馬県スポーツ協会ＨＰ（http://www.gunma-sports.or.jp/）からダウンロードできる。

10 その他

(1) 傷害保険は連盟にて加入する。
(2) 組合せ及び審判員の委嘱は連盟で行う。
(3) ウォーミングアップを含め、面を装着する場合は必ず面マスクまたはマウスガードを装着すること。
(4) フィジカルディスタンスや手洗い・うがい・消毒を励行し、新型コロナウィルス感染症対策を万全にすること。
(5) 日本スポーツ協会の国スポ監督資格規則により、選手の中に必ず１名監督資格を有する者が出場することが義務付けられており、大将には監督資格者を出場条件としてあるので、監督資格有効期限と登録費の支払いを確認して申込み、資格期限の確認のできる書類（登録証の写し等）を提出すること。
(6) 群馬県剣道連盟で撮影した写真が、新聞や群馬県剣道連盟ホームページ等で公開されることがある。